

防災だより

郡山市緑ヶ丘地区防災連絡協議会	
発行日	令和2年12月4日
発行No	R02-02
発行責任者	鈴木 忠好
編集責任者	渡邊 進

1. 緑ヶ丘地区防災連絡協議会「まちづくりハーモニー賞」受賞

令和2年度 郡山市民活動推進顕彰事業、市民活動実践部門で受賞しました。

11月6日、郡山市役所正庁において「市民活動実践」「市民活動応援」「青少年」の3部門14団体の代表者に、品川市長から表彰状が手渡されました。

表彰状とパネル（約60cm×85cm）は、緑ヶ丘ふれあいセンターの、集会室に向かう廊下に掲示してあります。又、緑ヶ丘地区町内会連合会のホームページに、掲載いたしております。

緑ヶ丘地区防災連絡協議会は、2001年に設立し、防災だより発行や、火災予防啓蒙活動等に努め、2011年の東日本大震災の驚異を経験し、様々な災害時の人的・物的被害の発生や拡大の防止・軽減を図り地域住民が相互に協力し合い、主要団体の役割分担を明確にする等、防災計画を作成し、住宅用火災警報器設置推進・高齢者福祉施設と隣接町内会との災害時相互応援協定締結と合同訓練実施・災害時避難行動要支援者所在地図作成・関係者へ配布・2013年より連続8年、自主防災会防災訓練実施、地域団体や皆様の協力を得て実施いたしました。

これまで、常任理事各位の防災知識習得や有識者・顧問の支援を得て、防災活動全般の企画・行政の支援要請や活動報告を実施してきました。

この受賞は、地域の皆様とともに、令和元年度まで実践した活動の結果が評価されたものです。ご協力に感謝いたします。ありがとうございました。

地球環境の変化に伴う災害の被害は甚大化しています、引き続き防災・減災に努めましょう。

2. 今年の防災訓練から得た防災知識の展開について

10月18日、実施した令和2年度（第8回）自主防災会「防災訓練」は、新型コロナウイルス感染予防策を優先して「出前講座」を開催：**こんなときどうする、災害から身を守るために「新しい生活様式の防災活動」**講師：防災危機管理課 防災危機専門官 斎藤 茂 先生を招き30名ずつ、2回に分け、それぞれの講座を1時間に短縮して受講いたしました。

江戸時代後期から昔の人の災害と対応・昨年の水害状況と今後の対応・新桜通り飲食店ガス爆発、等の、写真・シートを使い説明を受けました。

緑ヶ丘住民の災害対応の心得・通勤・通学時の通行経路・ハザードマップ説明等、知っておきたいことが沢山ありましたので、皆様に知らしめたいと企画いたします。

◆今後の展開

- ①三密と集会室収容人員数の状況を見て、再度出前講座を計画する。
- ②講座開催時は、受講人数明記と先着順優先の募集を行う。
- ③状況による講座開催数を増やすことも検討する。

◆新しい生活様式と避難所開設時の応援について

緑ヶ丘地区の屋内避難所は、小・中学校体育館と緑ヶ丘公民館の3か所です。避難所開設には段ボールマット組み立てや、設置に多くの支援者が必要となります、応援要請にご協力下さい。